



# 高知カツオ 県民会議

第4回 シンポジウム

入場無料

日時 2019年 2月5日 火  
15:00~17:30(開場/14:30)

内容 基調講演<1>  
「日本遺産を通じたキラリと光る地域づくり」  
基調講演<2>  
「SDGsから考える『地方創生』」  
パネル討論  
「カツオ資源・文化の持続可能性を求めて」

場所 高新文化ホール  
(高知新聞放送会館東館・7階)

[主催]



高知カツオ県民会議

[共催] 日本カツオ学会

高知カツオ県民会議

検索

www.kochi-katsuo.com



## ごあいさつ



## 尾崎 正直

高知カツオ県民会議 会長 | 高知県知事

高知カツオ県民会議第4回シンポジウムが、多くの皆様のご尽力のもと開催できますことを、心から感謝申し上げます。カツオ資源に対する危機感を共有する有志によって発足いたしました「高知カツオ県民会議」は、シンポジウムの開催や「中西部太平洋まぐろ類委員会」の年次会合への参加などを通じて、カツオ資源を取り巻く問題や諸課題を多くの県民の皆様と共有してまいりました。

こうした活動に加えて、平成30年4月からは本県のカツオ文化について、文化庁の日本遺産認定に向けた活動をけん引してまいりました。本県に受け継がれているカツオにまつわる文化と地域の歴史的魅惑や特色を織りまぜたストーリーが日本遺産として登録されることで、カツオ文化を後世まで伝えるとともに、本県のカツオ資源を大事に利用する漁業が広く浸透していくものと考えております。

本日のシンポジウムでは、日本遺産を活用した地域の活性化及び持続可能な開発目標(SDGs)による地方創生についての2つの基調講演と、カツオの資源と文化の持続可能性についてのパネル討論などとおしてカツオの資源問題とカツオにまつわる文化に関する議論を深めたいと考えております。

今後も、「高知カツオ県民会議」の活動を通じ、カツオ資源の管理の強化と資源の回復が実現するよう、皆様とともに取り組んでまいります。

## プログラム

15:00 ● 開会挨拶  
尾崎 正直 高知カツオ県民会議 会長 | 高知県知事

15:10 ● 「カツオ文化」の日本遺産申請  
岡村 健志 高知大学 准教授 | 地域コーディネータ

15:25 ● 基調講演<1> 「日本遺産を通じたキラリと光る地域づくり」



講師/ 丁野 朗 (ちやうの・あきら)

東洋大学大学院 国際観光学部 客員教授

ANA総合研究所 シニアアドバイザー | 観光未来プランナー

【プロフィール】

マーケティング・環境政策のシンクタンクを経て、1989年(財)余暇開発センター移籍。「ハッピーマンデー制度」や「いい夫婦の日」を提唱。産業遺産活用・産業観光などの地域活性化事業などに携わる。2002年(財)日本生産性本部、2008年(社)日本観光振興協会に移籍。2017年(株)ANA総合研究所シニアアドバイザーに就任(現職)。国土交通省、観光庁、経済産業省、文化庁、農林水産省などの関係省庁委員や各地自治体の顧問(アドバイザー)、日本商工会議所観光専門委員会学識委員など。大学では他に法政大学、跡見学園女子大学の兼任講師なども勤める。

15:55 ● 基調講演<2> 「SDGsから考える『地方創生』」



講師/ 河口 真理子 (かわぐち・まりこ)

(株)大和総研 調査本部 研究主幹

【プロフィール】

一橋大学大学院修士課程修了(環境経済)後大和証券入社。外国株式調査、日本株式調査を経て1994年より大和総研転籍。2010年大和証券グループ本社CSR室長を経て、2011年7月大和総研に帰任。2018年12月より現職。担当分野は環境経営・CSR・ESG投資、エシカル消費などサステナビリティ全般。アナリスト協会検定会員、早稲田大学非常勤講師(2017.4月〜)。著書に「ソーシャルファイナンスの教科書」生産性出版、「SRI 社会的責任投資入門」日本経済新聞社(共著)、「CSR 企業価値をどう高めるか」日本経済新聞社(共著)など。

16:25 ● パネル討論 「カツオ資源・文化の持続可能性を求めて」

ファシリテーター

受田 浩之 高知カツオ県民会議 会長代理 | 高知大学 副学長

パネリスト

丁野 朗 観光未来プランナー | 東洋大学大学院 客員教授 | ANA総研 シニアアドバイザー

河口 真理子 (株)大和総研 調査本部 研究主幹

山崎 道生 高知カツオ県民会議 資源調査・保全分科会 副座長 | (株)山崎技研 代表取締役会長

竹内 太一 高知カツオ県民会議 副幹事長 | (株)土佐料理 司 代表取締役社長

17:25 ● 閉会挨拶